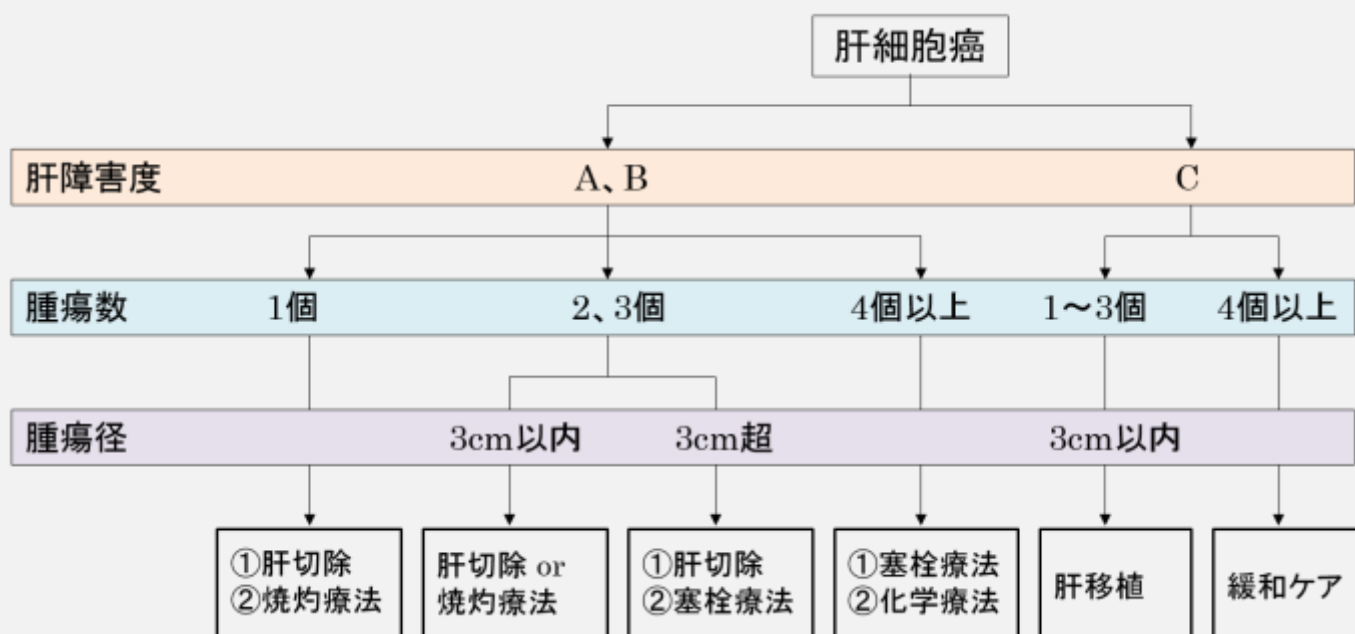


# 原発性肝がん（内科的治療）



市立大津市民病院では、肝がんの数、大きさと肝機能の程度から治療方針を検討します。患者さんの希望も踏まえて治療方針を決定します。



肝癌診療ガイドライン 2013年版 肝臓学会編

原発性肝がんの大部分は慢性の肝臓病を持つ人に発生します。日本では、年間 3 万人の方が亡くなっています。病状が進行しないと症状が出現しにくく、早期発見のための定期検診が必要です。

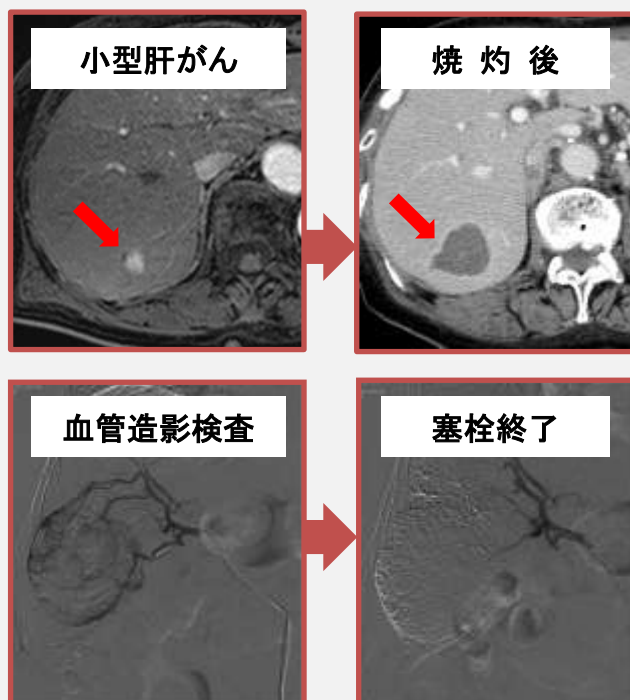
## 治療方法について

### ラジオ波焼灼療法

小さい腫瘍で個数が限られている場合に選択されます。腹部から電極針を刺し、腫瘍を焼灼します。小型の腫瘍なら 10 分程度で焼灼できます。1 週間程度の入院となります。

### 肝動脈塞栓療法

大きい腫瘍や多発している場合に選択されます。太股の血管（動脈）からカテーテルを入れ、抗癌剤や塞栓物質を注入して腫瘍を壊死させます。1 週間程度の入院となります。数ヶ月毎に繰り返し治療する場合や、他の治療法と併用する場合があります。



## 化学療法

経口の抗癌剤（ソラフェニブ）や、肝動脈へ直接抗癌剤を注入する治療（動注化学療法）を行っています。

## 治療後の経過観察について

肝細胞癌は再発が多いのが特徴です。再発を早期に発見するためには、治療後も定期的な検診が必要です。また B 型、C 型肝炎などのウイルス性肝疾患の患者さんでは、抗ウイルス治療を施行することにより予後の改善を図ります。

## おおよその入院期間と費用について

治療方法	入院期間	点数	3割負担の方の概算費用 (限度額適用なしの場合)
ラジオ波焼灼療法	約1週間	約45,000点	約14万円
肝動脈塞栓療法	約1週間	約57,000点	約18万円

概算は、限度額を適応していない金額です。

※70歳未満の方が限度額認定証をご提示いただくと、

1ヶ月ごとの自己負担額が、所得区分:ウ(年収約370万～770万円)の方で10万円前後です。

※70歳以上の方は高齢者受給者証をご提示いただくと、

1ヶ月ごとの自己負担額が、所得区分:一般の方で57,600円程度です。

限度額は所得により異なります。食事代や差額ベッド代は限度額認定証の対象外です。

私

たちにお任せください

